

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 5 月 7 日

事業所名 児童デイサービス福すけ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	1階と2階を利用して環境の切り替えを提供している	1階と2階のスペースを利用して 児童の特性に応じた支援ができています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	特にサポートが必要な児童には児童の特性に適した資格を持ったスタッフが対応している。	法令に基づいた人員配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	86%	14%	階段には手すりを設置し蛍光灯テープを貼るなど段差の注意を促している。	視覚支援からの注意喚起等、バリアフリー化の配慮を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	86%	14%	研修の実施や日々の振り返りや支援の内容についてのご意見を共有している。	朝のミーティングや研修を通じて、情報を共有している。課題や今後の取り組み等、意識できている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者様の評価表での意向や慎重に検討する必要がある。②マニュアル等に関する項目に「どちらとも言えない」の回答が多いため、個別支援計画見直し時の面談時に説明を行うようにしていく。	①保護者会や障害がない子供との交流に関しては 望まれないご家庭が多く、慎重に検討する必要がある。②マニュアル等に関する項目に「どちらとも言えない」の回答が多いため、個別支援計画見直し時の面談時に説明を行うようにしていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者による外部評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	事業所内の研修として年間研修予定表を作成し、各種の研修を行っている。	事業所内の研修のみでなく、講師を招いての外部研修の実施・療育センターの基礎研修、新人職員に対する研修を行い 職員の資質向上に取り組んでいる。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	定期的に保護者と面談を行い適切な支援を提供している。	法令に従い児童発達支援管理責任者を中心に職員の意見も反映し個別支援計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0%	100%	独自の記録やスタッフ会議での資料を基に作成している。	標準化されたアセスメントツールがないため、独自のツールを作成する必要があると考える。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	86%	14%	リーダーを中心に職員間の話し合いで児童の特性や季節感を考慮し決定している。	ミーティング時に翌月の支援時間(平日・休日)により活動の内容を決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	86%	14%	季節も考慮し、多様なプログラムを立案している。	プログラムが固定化されないようになっているが、インフルエンザや感染症を考慮していたため固定化される日が多かった。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	前月に課題の予定表を作成している。	児童の状況・天候等、当日の状況から決定支援している。平日では取り組めない活動を休日に取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個々に合わせ、個別療育・集団療育の内容を個別支援計画書に反映している。	保護者様との面談の上、個別支援計画書を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	当日、業務の流れを確認している。	朝のミーティングで、利用児童・業務の流れ・留意事項を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	86%	14%	気づいた点等送迎後振り返りを行っている。	各自 一日を振り返り、気づきノートに記載するなど、留意点を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の記録を取っている。	業務日誌・気づきのノート・ケース記録に記載し支援の検証・改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	法令に基づき計画の見直しを行っている。	支援期間の途中である場合であっても、支援内容の変更が必要であると判断された場合には、見直しをして計画を変更している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	ガイドラインに沿って支援を行っている。	基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	86%	14%	相談支援所のサービス担当者会議の連絡はない。	電話での問い合わせがあった場合は、児童発達支援管理責任者が対応している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校からメールで翌月の送迎予定表をいただき、利用児童の確認メールを返信している。	保護者様から学校の年間行事・年間計画・下校時間等の情報をいただいている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	86%	14%		現在 医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		相談支援事業所を利用されている方は、相談支援事業所を通じての情報共有はできている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	障害福祉サービス事業所等へ移行する場合情報依頼はない。	障害福祉サービス事業所等の情報共有は 必要と感じている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	86%	14%		障がい福祉未経験の社員は受講していただいている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	交流の機会はない。	必要と感じていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	参加している。	交野市の 連絡協議会に参加し 交野市、他の事業所との情報共有に努めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	定期的な面談時やご自宅送迎時等 状況確認をさせていただいている。	ご利用児童様の療育の方向性に齟齬がないか確認ができている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	86%	14%	ペアレント・トレーニングは行っていない。	障害の理解 専門的な知識を得ることが望ましいと考えているため、ペアレント・トレーニング等の研修の案内をする必要性を感じている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	説明させていただいている。	契約時・面談時等、問い合わせがあった場合等お話しさせていただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	行っている。	ご相談を受けた場合には、迅速に対応し安心してご利用していただくようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	86%	14%	保護者会などを 必要とされる保護者様が少数であるため保護者会の代替として事業所での研修会の参加等の声掛けをさせていただいている。	外部講師を招いての研修会を開催し、保護者様の御都合および保護者会の代替として計画している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情相談窓口を設置している。	苦情相談があった場合はマニュアルに従い迅速に対応させていただいているが、判断が難しい場合には 市や大阪府に指示を仰ぐようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	会報は発行していない。	活動予定の配布物・活動時の写真・連絡帳などで情報共有させていただいている。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	十分注意している。	鍵のかかる書庫に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	個々に応じた意思の疎通や情報伝達を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	地域住民の方をお招きする事業運営は行っていない。	地域住民との交流の1つとして、自治会の避難訓練に参加する予定にしている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	各種マニュアルを策定している。	保護者様には、面談時の説明や事業所玄関での掲示を通じ周知している。職員には、定期的な閲覧を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	非常災害に備え必要な訓練を行っている。	ご利用児童様には月に1度実施させていただいている。職員対象として、一年に1度実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	行政主催の虐待防止・身体拘束適正化の研修を行っている。	虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、研修の機会を設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束適正化委員会の整備・指針・マニュアルを作成し保護者様と、協議の元 決定している。	行政からの指導を基に研修をおこない、身体拘束についての知識を深めている。身体拘束が必要になったときには 保護者様との協議、個別支援計画書に身体拘束の必要性について理解を深めていただいている。個別支援計画書にサイン、捺印をいただいている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%	食物アレルギーのあるご利用児童在籍時の場合、医師の指示書が必要と思われる。	医師の指示書に基づく対応は現在でない。保護者様からの調査書で確認させていただいている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成している。	年度初めに ヒヤリハットの振り返りを実施し、現場に反映している。